

## 学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生外語観光&製菓専門学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成28年6月23日

校 長 竹口伸一郎

自己点検・評価責任者  
校長代行 下村 豪

# 学校関係者評価報告書

## 麻生外語観光&製菓専門学校

### 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的.....	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針.....	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿.....	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	- 2 -
5. 学校関係者評価方法.....	- 2 -
II. 学校関係者評価内容.....	- 3 -
基準 1 理念・目的.....	- 3 -
基準 2 教育の内容.....	- 4 -
基準 3 教育の実施体制.....	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果.....	- 8 -
基準 5 学生支援.....	- 9 -
基準 6 学生募集・受け入れ.....	- 12 -
基準 7 社会的活動.....	- 13 -
基準 8 管理運営.....	- 14 -
基準 9 財 務.....	- 16 -
基準10 改革・改善.....	- 17 -

平成27年度  
(2015年度)

## I. 学校関係者評価の概要と実施状況

### 1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生外語観光&製菓専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

### 2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

### 3. 学校関係者評価委員名簿

	氏名	所属
業界関係者	増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
業界関係者	松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
業界関係者	長 加奈子	福岡大学 准教授
業界関係者	山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
業界関係者	加藤 博志	九州 B.M.C. 会長
業界関係者	鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長
業界関係者	芳野 香織	ANA 福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課 マネージャー
業界関係者	荻原 将章	ANA 福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング3課 マネージャー
業界関係者	平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長
業界関係者	木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任
業界関係者	金 大義	(株)韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
業界関係者	森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
業界関係者	ノウジョウ 能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長 人材開発担当
業界関係者	江口 克司	株式会社 ニューオータニ九州 プライダル担当部長

業界関係者	大屋 寿	株式会社 ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
業界関係者	古賀 三和子	株式会社 アルカディア 人事課長
業界関係者	柳原 久一郎	株式会社 ブライトウェイ 代表
業界関係者	船橋 修	ロイヤルホールディングス株式会社 経営企画部 ロイヤルグループ採用・教育担当課長
業界関係者	樋口 耕平	株式会社 J T B 九州 企画総務部
業界関係者	宮川 正和	パティスリーポッシュ オーナーシェフ
高 校	甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
卒業生	堀部 豊和	
卒業生	久永 妙美	
保護者	村山 聖子	

※敬称略

### 4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成28年 6月 23日（木）14：30 ～ 16：45

場所：麻生外語観光&製菓専門学校 8号館8階 882教室

### 5. 学校関係者評価方法

平成27年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

#### ※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

## Ⅱ. 学校関係者評価内容

### 基準 1 理念・目的

#### 項目総括

建学の精神、教育の理念等は明文化し、麻生塾ルールブックにて全職員に周知しています。

- ・校訓「無私」
- ・教育方針「専門性を高め、且つ人間性、人格の成長を図ります」

教育目的、育成人材像は学科ごと明確に定めており、学生へも学生便覧等で周知しています。実現するための具体的な計画、方法をカリキュラムやシラバスとして定めており、時代の変化に対応した内容となるよう適宜見直しを行っています。また総合パンフレットやHPで学外に公表しています。毎月の責任者会議で進捗を確認し、内容を全職員に共有しています。

#### 主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・ツールが充実している。
- ・上記、明文化のみならずルールブックにて全職員に周知徹底されている。
- ・全ての項目、基準に適合しており明確である。
- ・時代や世の中の流れに沿った内容になっており、ニーズを常に意識し展開している。
- ・理念や目的は学生にも分かるような打ち出し方をすると、更に理解が深まると考える。

#### 中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。  
理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

#### 小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校の建学の精神はルールブックに記載され、配布、周知されており、全職員が充分理解している。また Web サイトや印刷物等で社会に公表している。

#### 小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校の理念、目的、教育目標、教育方針、行動規範、ビジョン、校訓、GCBの考えが記されたルールブックを配布しており、内容を理解し指導を行っている。またその内容に基づいた就職指導を行い理念の浸透を図っている。また外部講師については、講師会開催時に教育理念等の浸透を目的とした内容を盛り込んでいる。

#### 小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

前後期末に教育理念、年間教育方針に沿った評価を行っている。また、毎年新学科検討を行い、社会のニーズに沿った学科の設置を目指し、見直しを行っている。

#### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学科の教育目的や育成人材像は、法人の理念と各校の教育理念から展開したのものになっている。毎年、3 月にキックオフ会議を行い、理念、方針に基づいた次年度計画の報告を行っている。

## 小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育目的は学生便覧内に記載し、学生に配布し周知徹底している。各学科の授業内容計画はシラバスを作成し、授業開始時に学生へ配布、周知を行っている。また HP 等を介し社会に公表している。

## 小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

専任教員は、全員社会的良識と各分野に要求されるスキル、知識を有しており、教育方針を実現できる人材を確保している。また毎年必要な設備、教材は購入している。

## 基準 2 教育の内容

## 項目総括

教育目標や人材育成は各業界からのアンケート情報等により、人材ニーズを把握し、到達可能なレベルとして設定しています。カリキュラム作成においては、高校の現状を反映するため、専任教員が一部行い、且つ広報担当とも容易に情報交換できる環境にあります。業界の現状については、就職グループが得た情報を教務へフィードバックしています。加えて職業実践専門課程の評価委員として、高校関係者にも参画してもらい、意見を教育内容にも反映しています。

授業評価は授業アンケートを実施し、結果を担当教員にフィードバックすることにより授業改善を目指しています。教員については学科の育成目標に向けた授業を行うことが出来る要件を満たしていますが、人材開発システムに基づき更なるスキルの向上を図っています。

成績評価、単位認定は明確に定めた内容に則って行っており、学生便覧にて周知しています。資格取得については各学科で目標資格が定めており一定の資格取得が卒業要件になっています。

付加教育については、独自のものとして塾長の唱えるグローバルシティズンを目指す教育(GCB 教育)を行っています。人間力、志、人生の機軸を学び、国際社会で活躍できる人材育成を目標としています。

## 主な課題及び改善の方向性

入学予定者に対し事前課題を課し、補講が必要な場合は適宜実施をしています。しかしながら、入学予定者の基礎学力や資質を把握する手段が現時点で整備しておらず、教育成果の確認が出来ていないため、平成 28 年度は確実な実施に向けて準備をすすめていきます。

■学校関係者評価結果：適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・さまざまな工夫、多角的なカリキュラムにより人材育成や質の向上、引継ぎが行われている。
- ・学生との双方向による自己点検も評価に値する。
- ・具体的なキャリア教育が行われ、且つ学生からのフィードバックも適宜実施されており適合である。
- ・授業見学シートの活用等、具体的な改善プロセスが用意実行されている。

## 中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

## 小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年 2 回の教育課程編成会議及び就職グループによる日々の企業人材ニーズヒアリングにて現場のニーズを吸い上げ、カリキュラムに反映している。またカリキュラム構築の考え方や教育内容は A 表にて文書化され共有化している。更に全教員がカリキュラムの内容を理解している。

## 小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

カリキュラムおよびシラバスは修業年限分を文書化して、共有化している。学生には授業開始前に配布し説明を行い、授業内容や達成目標を周知している。

## 小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年 2 回の教育課程編成会議にて業界のニーズを吸い上げ、カリキュラム会議を実施している。広報活動も専任教員が一部行い、且つ広報担当とも容易に情報交換できる環境にある。加えて職業実践専門課程の評価委員として、高校関係者にも参画してもらい、意見を教育内容にも反映している。

## 小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年 2 回の教育課程編成会議にて現場のニーズを吸い上げ、カリキュラムに反映している。またカリキュラム構築の考え方や教育内容は A 表にて文書化、共有フォルダで管理されており、教科間の整合性が確認出来ている。

## 中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

授業ミニアンケート、教師アンケートを各年 2 回計画に基づき実施している。またアンケート実施後、主任及び校長代行による個別面談を実施し、面談内容を教員目標設定シートに記載している。新任教員は主任による授業見学を実施し、内容を記録保存している。

## 小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

同科目担当教員による勉強会を実施し、教授法や授業マテリアルの共有を行っている。また新任教員は主任による授業見学を実施し、内容を記録保存している。しかしながら授業改善委員会等の設置は不十分であり、今後設置、改善活動の効果検証が必要である。

## 小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各部署の目標を明確にし、目的意識、実行の具体を定めている。またそれに基づき専門分野や担当分野に関する外部研修に参加し、専門性向上を図っている。また学内でも同科目担当教員による勉強会を実施し、教授法や授業マテリアルの共有を行っている。

## 中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

育成目標と合致した職場実習を設定し実施している。また企業による実習評価を行い客観的に評価できる仕組みが整っている。

## 小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

GCB を含めたキャリア教育をカリキュラムに組み込み、入学当初より実施している。また各業界に必要なキャリア教育は各学科にて具体的に内容を定めており、職業的自立を促す教育を体系的に行なっている。

## 小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

入学予定者に対し、事前課題を与えている。また補講を必要に応じ適宜実施している。しかしながら入学予定者の基礎学力や資質を把握する手段が現時点で整備されておらず、教育成果の確認が出来ていないため今後の改善課題である。

## 基準 3 教育の実施体制

## 項目総括

教育環境については、教育目標、人材育成目標の達成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し、教職員、非常勤講師、学生に配布し周知しています。

就職支援に関しては、キャリアサポートセンターを設置し、求人検索システム、求人票、企業パンフレット、受験マニュアル、受験報告書などのツールを揃えとともに、各業界や地域の求人に対応できる専属の就職担当者を配置し、クラス担任との連携を図り就職のサポートを行っています。

分煙・エコ活動・学内の整理整頓清掃等の教育環境の整備については、規定やルールを定め学生便覧に文書化し、および教室内に掲示し周知徹底を図っています。

学内外の安全対策に関しては防災、防犯設備の点検や避難経路の掲示、避難訓練を実施し、教員の周知徹底を図るとともに、学生の登下校及び学校生活における万が一の事故に備えて、全員が保険に加入しています。

## 主な課題及び改善の方向性

採用基準では、授業を通じて学生を涵養する高い人間性を求めており、採用基準として明文化しています。しかしながら業界の専門性及び経験、必要な資格な資格に関する基準は定められているものの文書化に至っていないため、平成 28 年度中に整備を進めていきます。

■学校関係者評価結果：適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・企業採用試験の状況データベース化等は評価できる。
- ・S、A基準が分かりづらい。定量的に出来ている分野はS評価でいいのではないか。
- ・学生自身が学べる(自由に使用できる)施設を整備している。
- ・震度7熊本地震レベルにおいて、建物及び体制が万全かの検証と報告があると安心感が増すのではないか。
- ・インターンシップに関して、内容を文書化するなど、長期的な資料保管は学生の意識向上に繋がっている。

## 中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

## 小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生数に応じて十分な教員を配置しており、主要科目については専任教員を適切に配置している。教員の年齢構成や専門分野のバランスについては現時点で評価対象となっていないため、今後検討を要する。

## 小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

講師会(年 1 回)、非常勤担当科目報告書及び教科担当部会にて定期的に授業内容について情報交換をしている。

## 中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総合図書館に、業界関連書籍を設置しており学生が利用できる環境を整えている。

## 小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポートセンターを設置しており、就職指導担当者が常駐している。また学生が就職に関する情報を適宜収集できるよう、企業パンフレットや受験報告書を保管し、閲覧可能としている。

## 小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校賠償責任保険、学生・生徒災害傷害保険に加入することで、学内外(通学・実習含む)での安全を担保している。また「企業実習、インターンシップ注意事項」及び覚書にて安全管理規程を文書化し、学生並びに企業へ提示、説明している。

## 小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯設備については、保守点検を毎月実施しており、点検結果の説明を受けたうえで、報告書を適切に保管している。使用方法については、受入時や消防訓練などの機会を通じて、教職員の理解度向上に取り組んでいる。

## 小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

空調などの建物付帯設備については、定期的に保守点検を実施しており、点検結果の説明を受けた上で、報告書を適切に保管している。万が一、故障などが発生した場合も、修繕依頼書を受領した後、直ちに修理手配を行っている。

教育備品や教具についても、固定資産管理規程を整備した上で、当該運用ルールに基づいて適切に管理している。

## 小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

=====

**基準 4 教育目標の達成度と教育効果**

=====

**項目総括**

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で教職員が情報共有、周知できるようにしています。

就職に関しては、各学科について月ごとの目標を設定しています。内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを構築し、データ管理を行っています。就職担当者とクラス担任で毎週実施している定期会議にて、学生の就職状況に関して検証を行い、全教職員に対して教務会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで外部に対して就職実績を公表しています。

成績評価、資格検定取得、退学に関しても担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録するとともに、教務会議等で全教職員と共有しています。卒業生の就職の記録は学校システムで行い、パンフレットおよび Web サイト等で公表しています。

**主な課題及び改善の方向性**

特になし

■学校関係者評価結果：適正

**学校関係者評価 評価者のご意見**

- ・資格、検定の資料(試験合格率等)を共有し、且つ合格者数も目標設定し検証されている。
- ・進路支援や企業とのコミュニケーションも良好である。
- ・資格、検定等に関して長期的なサポートは計画、実施されているのかを明確にすべきでは。
- ・就職後も企業アンケートを実施し、人材教育に生かす取り組み等評価できる。
- ・就職後の離職率についても目標設定し、就職先とのミスマッチを防ぐ取り組みをお願いしたい。

=====

**中項目 4-1**

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

-----

**小項目 4-1-1**

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

教育成果である進級、卒業率の数値目標を設定しキックオフ資料に記載、全教職員が共通認識している。また、学科毎、担当クラスごとの月例報告が行われている。各学科目標検定に関しては、管理シートを作成し、達成度を入力、共有フォルダー内で管理している。

**小項目 4-1-2**

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

教育成果である進級、卒業率の数値目標を設定しキックオフ資料に記載、全教職員が共通認識している。また、学科毎、担当クラスごとの月例報告を行っている。各学科目標検定に関しては、管理シートを作成し、達成度を入力、共有フォルダー内で管理している。

**小項目 4-1-3**

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

資格、検定に関する目標を各回別に設定し、事業計画書に記載している。内容はキックオフ会議で共有されており、検定結果報告書で随時報告を行っている。また目標シートが整備されており毎検定の進捗状況を適切に管理している。

**小項目 4-1-4**

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

求人件数、就職内定の目標を設定し事業計画書に記載している。全職員に対しキックオフ会議にて共有し、数値目標を会議資料にて明示している。学生に対しては達成に向けた就職教育スケジュールを立案、提示している。就職試験の結果は、校内統一の報告書を使用し記録、保存しており内容を指導に役立てている。不合格理由は就職グループが出来る限りヒアリング、学内にフィードバックをし、次の就職試験に向けた指導材料としている。



## 小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

各クラス、学科にて退学率に関する目標設定を行っている。キックオフ会議にて卒業率向上の意義を教職員が理解し、共有している。また会議資料、事業計画書には設定した退学率目標を明示している。退学に関する検証は月次報告書にて行い、MM 会議にて報告し、内容を教職員で共有し事後の指導に役立てている。退学者数は Web サイトで適宜公表している。

## 小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学生から提供される「進路決定届」を元に、麻生塾システムにより進路、就職先を管理している。また印刷物や Web サイト・掲示等で結果を公表している。個人情報については充分留意し管理を行っている。

## 小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の 1 年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

卒業後 3 年目の卒業生に対して、顧客満足度調査アンケートを実施している。卒業後 1 年目～3 年目の卒業生に対して、在籍調査を実施している。上記 2 件の調査結果については、教師就職研修で報告している

## 基準 5 学生支援

## 項目総括

平成 27 年度の求人数は、4189 件(福岡 4 校)であり堅調に推移しました。就職内定率に関しては平成 28 年 3 月末で 98.0%となり、こちらも順調に推移しました。各種学内説明会については、平成 27 年度は 418 件を超える企業様に来校いただき学内で説明会や選考会を実施していただきました。また企業別面接指導や業界理解セミナー、職種理解セミナーなどを企業人事担当者、卒業生を招聘し積極的に実施しました。

学生相談に関しては、専門のカウンセラーが相談に応じています。学生の経済的な支援は分割納入制度や各種奨学金を運用し、有効に機能しています。学生の健康管理については、毎年健康診断を実施し、必要に応じて校医と連絡を取り予防措置等を図っております。

保護者との連携は、電話連絡を日常的に行っているほか、3 者面談を毎年行っています。また保護者会を開催し、学校の取り組みと就職活動の状況について報告しています。

卒業生に対しては、インターネット回線を利用した「既卒者向け求人紹介システム」(通称ソラン)や同窓会組織「校友会」を運用しており、定期的な情報提供を実施しています。

## 主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・人(学生)、もの(設備)、金(奨学金)全てにおいて手厚く対応されており、十分な支援であると考えます。
- ・部活動を通じた人材育成も意義があると考えます。
- ・卒業後の見守り、サポートも充実している。

## 中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

## 小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

前期・後期の担任面談且つ随時、担任によるガイダンスが行われており、その内容は学科会議等にて教員間で共有している。基本的に担任・学生担当者が窓口となり学生の相談に応じている。面談内容を時系列に文書化したガイダンス記録表を作成し保存している。

## 小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。有資格者は福岡キャンパス・北九州校・ABC校に在籍しており対応できている。

## 小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

健康管理、メンタルヘルスケアが出来るカウンセラーが定期的に訪問し、学生相談を実施している。

## 小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生が受けたハラスメントについては、有資格者であるカウンセラーが対応している。

ハラスメント委員会を組織化、また危機管理マニュアルに記載し文書化している。またハラスメントに関する研修も定期的に行っており教職員は内容を周知している。

## 小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

保護者会、三者面談を実施し、保護者との信頼構築を図っている。また面談内容を時系列に文書化したガイダンス記録表を作成し保存している。

## 小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

## 小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

国際交流センターを設置し、留学生の修学支援や就職支援を専門的に行っている。担任と留学生担当者は定期的に情報交換を行い必要な支援を適切に行っている。社会人学生に関しては一部の学科を対象に教育訓練給付金制度を設け修学支援を行っている。また就職においても、就職グループが中心となり個別に支援している。

## 小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

男女共に直営寮および留学生専用の学生寮を完備している。寮則を遵守し運営をおこなっており、担当者および各学校責任者による定期的な巡回で、寮監および寮生より状況把握のための聞き取りをおこなっている。寮生に対してのアンケートを実施し、満足度向上に繋がる改善をおこなっている。

## 小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教職員が部活動顧問として課外活動支援を行い、年間の予算を管理、報告を行っている。

## 中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■学校関係者評価結果: **適合**

■自己点検・評価結果: **A**

## 小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

校友会が設置され、規定も文書化している。2年に一度校友会総会が実施されている。また年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。WEB サイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

## 小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、WEB サイトを使用して求人紹介を実施している。必要な知識醸成のため校友会組織が講習・研修を実施している。また就職グループ職員が卒業生への就職先へ定期訪問すると共に、入社 1 年経過者、3 年経過者の在籍確認を実施している。

## 小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

担当者が訪問し、就業状況についてヒアリングをしている。卒業生の就職先に対し、就業 1 年後にアンケートを実施している。個人情報に関して、印刷物等で紹介する時は本人確認を実施している。過年度の調査記録はデータで保管している。

## 中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■学校関係者評価結果: **適合**

■自己点検・評価結果: **A**

## 小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。Webサイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

## 小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

学校の Web サイトを通じて情報を提供すると共に、就職ホットニュースを作成し学校情報を保護者に配布している。

## 小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

学生の資格取得、就職情報を書面にして適宜訪問し報告している。また HP 上でもさまざまな情報を掲載し、定期的に更新している。

## 小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

麻生塾の Web サイトや企業用パンフレット内に、学校の人材育成システムなどの情報を掲載し、定期的に更新している。

=====

**基準 6 学生募集・受け入れ**

=====

**項目総括**

学生の受入れ方針(アドミッションポリシー)を募集要項に明示して、学校および各学科がどのような能力や意欲を持った学生を求めているか明らかにし、入学後のミスマッチをなくすよう努めています。募集要項にはその他、学費・教材費等も明示しています。

学生の募集活動においては、就職実績や資格取得実績をパンフレット・Web サイトで公表し、教育成果を正確に伝えることで、入学希望者に現状を理解していただけるようにしています。

**主な課題及び改善の方向性**

学科ごとの入学定員に対する入学者数比率および収容定員に対する在籍学生数比率は適切に管理されています。しかしながら近年入学定員の見直しは行われていないため、教育環境や市場ニーズに応じた検証を継続的に行ってまいります。

■学校関係者評価結果：適正

**学校関係者評価 評価者のご意見**

- ・特定学科募集について、トレンドを意識したイメージアップが必要と思われる。
- ・B評価の項目について、今年度の見直し、検討に期待する。
- ・オープンキャンパスの内容、回数も充分であり、入学に関する事項が詳細に公表されている。
- ・専門学科内容によっては、社会の状況に見合った都度の見直しや検討が必要であると思われる。

=====

**中項目 6-1**

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **S**

=====

**小項目 6-1-1**

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

募集要項、Web サイトにて明示すると共に、オープンキャンパスにおいて説明している。また入学予定者に対して、入学説明会を実施し、改めて話をしている。

**小項目 6-1-2**

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

募集要項、パンフレットなどに育成する学生像を記している。またオープンキャンパスにおいても各学科にて詳しく説明している。

**小項目 6-1-3**

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

募集要項、Web サイトなどに上記を記載している。教職員はその内容を周知しており、学費・教材等に関する内容を説明することができる。

**小項目 6-1-4**

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

選抜方法は募集要項、Web サイト等で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施されており、選考基準について、定期的かつ適切に検証している。内容は年度初めに勉強会を実施し全教職員に共有、周知している。

**小項目 6-1-5**

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

情報は、パンフレット、Web サイトで公表している。学生の資格取得、就職情報については定期的に更新を行っている。

**小項目 6-1-6**

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

学科ごとの入学定員に対する入学者数比率および収容定員に対する在籍学生数比率は適切に管理されている。しかしながら入学定員の見直しは定期的に行われておらず、教育環境や市場ニーズに応じた検証が今後必要である。

=====

**基準 7 社会的活動**

=====

項目総括

学生のボランティア活動は推進委員会を設置し学校ごと、或いは各々の学校教育内容の特徴を生かした連携を図りながら推進しています。学生はそれぞれの興味や関心に対応した、NPO法人等が主催するさまざまなボランティアへ参加しています。教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO法人・ボランティア団体等への支援や職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受入など、積極的に社会貢献を進め、定期的な実施報告も行っています。

また、地域貢献への取り組みとして中高校生や大学生向けの仕事内容紹介イベント「お仕事スタジアム」を毎年無料で開催し、平成 28 年 3 月実施分については 4000 名の方に参加いただきました。

主な課題及び改善の方向性

学内に設置したボランティア推進委員会を中心に学生への自主的なボランティア活動として推進しています。しかしながら単位認定については、規定はあるものの平成 27 年度は該当ボランティアがなく単位認定には至っていないため検討し、準備を進めていきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・地域に根ざした取り組み、また貢献しようとする姿勢が評価できる。
- ・企業でもCSRが重視されているため、ボランティア活動を通じた経験は学生にとって有意義である。
- ・専門性を生かした社会貢献活動に期待したい。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

学内に設置したボランティア推進委員会を中心に学生への自主的なボランティア活動として推進している。また都度、地域からの要望に応じた活動を実施している。なお H27 年度は該当がなかったが、単位認定の規定はある。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

業界動向の把握と業界との連携強化のため、福岡県洋菓子協会、日本旅行業協会九州支部、九州BMC他関連業界団体に加盟している。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

地域のニーズに向けた公開講座として「お仕事スタジアム」という職業紹介、情報発信の場を設けており、企業と連携して専門分野の講座を実施、運営している。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

高齢化社会貢献の一環として、福祉センター訪問を実施している。またこの連携により、業界の求める人材育成を目指した付加的教育を行っている。

=====

**基準 8 管理運営**

=====

項目総括

社会に信頼される学校であり続けるために、コーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの徹底に努めています。平成 25 年度からは、人事考課制度である新入材マネジメント制度を実施、また文部科学省より認可を受けている職業実践課程教育を提供する十分な能力・資質向上を目的とし、研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・賃金制度、及び採用制度については文書化し、運用することが課題である。
- ・教員とは自発的に学び成長されることが求められるが、実践した内容、結果に対してもしっかりと評価されなければならない。
- 人事規程の内容については明確に共有していただきたい。
- ・人事規程、給与規定は常に最新版を常備する必要がある。
- ・ハラスメントの対処を進めているところは評価できるが、基盤となる規定をまずは早急に整備する必要がある。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

運営会議を定期的開催し、学校運営に関する諸々の事項を決定しており、内容は議事録にて保存している。また MM 会議にて学校の運営状況、法人経営層へ報告している。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

麻生塾の構成員の職務分掌を文書化しており、各人はそれぞれの職務内容を認識している。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示までにはいたっていない。

## 小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

## 小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

## 小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

保守点検業者を通じ定期的に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。年 1 回教職員および、在校生が参加して防災訓練を実施し、危機管理マニュアルの内容を周知する機会を設けている。

## 小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報保護規程を文書化し閲覧可能な状態である。教職員は全員内容を周知しており、規程に沿った行動を行っている。

## 小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント委員会を組織化、また危機管理マニュアルに記載し文書化している。またハラスメントに関する研修も定期的  
に実施している。

## 小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科が育成する人材像を分析し、育成に必要な教職員の能力及び資質の向上を目的とした「研修計画一覧」を策定し、「教職員研修規定」に則り実施している。責任者が研修後の評価を実施している。

=====

基準 9 財 務

=====

項目総括

年度予算を計画的に管理しており、平成 25 年度より四半期ごと経営会議に報告をしています。またコンプライアンスを遵守し学校会計原則のルールに従い会計処理を行っております。各校も監査ルールに従った監査を実施し、文書による結果報告を行い、正しい会計処理・運営に関して指導を行っております。外部監査も毎年受け、承認を得ています。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・会計担当者の学校間の相互チェック体制は整っていると更なる透明性が確立される。  
・

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

中長期計画に基づいた年度予算案を作成し、理事会にて承認を得ている。決定した事業計画は年度初めのキックオフ会議にて全職員と共有している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

月次予算を作成し予算執行を行っており、毎月の実績確認と管理・改善を行っている。

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理されている。

小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題。



=====

**基準10 改革・改善**

=====

**項目総括**

自己点検・評価委員会が組織されており、評価項目ならびに評価時期を明文化し、実施しております。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けています。自己点検・評価の結果は毎年 Web サイトにて公開しており、常時閲覧できるようになっています。

**主な課題及び改善の方向性**

今後も継続して、自己点検・評価活動を実施していきます。

■学校関係者評価結果：適正

**学校関係者評価 評価者のご意見**

- ・全職員での評価委員会が実施されており、文書で管理されているところは評価できる。
- ・学びの日を設定し、職員の能力向上に努力されているところは評価できる。

=====

**中項目 10-1**

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

-----

**小項目 10-1-1**

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

自己点検・評価項目一覧表に「めざすべき目標像」が明確になっており、レベルを評価できる状態となっている。自己点検・評価活動を動かす委員会が組織され、各職場で委員が中心となり、自己点検評価活動が行われている。定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信され、教職員が理解を深めている。

**小項目 10-1-2**

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

自己点検・評価を教職員で共有し、次年度の活動に活かしている。

**小項目 10-1-3**

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信し、教職員が理解を深め、改善活動に取り組んでいる。毎年定期的に自己点検・評価を行ない、改善計画を作成し、実行している。改善状況については、内部監査にて検証している。

**小項目 10-1-4**

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

委員会により評価結果を文書化している。自己点検・評価の結果を公表できる体制が整っている。